

平成30年分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「半導体等電子部品」などは減少したものの、「石油製品」、「鉱物性タール及び粗製薬品」などが増加したことから、対前年比 4.2%の増加となった。また、輸入額は「生ゴム」などは減少したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが増加したことから、同 25.9%の増加となった。
これにより差引額は、8,819億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	8,364億円	+4.2%	1兆7,183億円	+25.9%	▲8,819億円	+56.7%
	2年連続の増加		2年連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 石油製品	887億円	+58.1%	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	9,293億円	+43.4%
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	478億円	+49.6%			(2) 液化天然ガス	3,049億円	+11.1%
		(3) 自動車の部分品	640億円	+19.5%			(3) 石炭	408億円	+22.6%
	減少品目	(1) 半導体等電子部品	128億円	▲54.6%		減少品目	(1) 生ゴム	252億円	▲16.1%
		(2) 科学光学機器	308億円	▲32.7%			(2) コーヒー	64億円	▲16.8%
		(3) 原動機	216億円	▲21.0%			(3) 野菜	19億円	▲20.1%
	地域別動向	増加：西欧、アジア 減少：北米				地域別動向	増加：中東、中東欧・ロシア等 減少：中南米		

(参考) ドルレートは、110.50円（前年比1.6%、1.83円の円高）であった。

(注) 年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。